



2021 年度第 5 回フチ国際理解講座開催



今年度 5 回目となるフチ国際理解講座。今回は 8 月 20 日（金）に「まちなか広場 Perch」の代表 岡部睦子氏を講師としてお迎えし、「地域課題を考える～まちなか広場 Perch の活動から」をテーマに講演していただきました。

講演を行う岡部睦子氏



まちなか広場 Perch について

郡山市大町にあるまちなか広場 Perch。様々な人々との交流を通じて、支え合い、学び合うみんなの止まり木として、非営利任意団体として 2020 年 3 月 26 日にオープンしました。民間の地域福祉の拠点となることを目指しています。

毎週木曜日の 16:00～21:00 まで誰でも自由に利用できます。17:30 頃からはお食事（地元の野菜を使用）も提供しています。「居場所」について、使い方やルール、年齢制限などはありません。おしゃべりしたり勉強したり、様々な目的で集まれる場所です。困ったことがあればソーシャルワーカーやカウンセラーなどの専門スタッフに相談することもできます。無料で「居場所」が利用でき、食事をする大人の方はカンパとなっています。

また、部屋の貸し出しやイベント・講演会の開催なども行っています。こわか広場（本校でも行っているこおりやま子ども若者ネットプログラム）や、にじいろサロン（LGBTQ に関する団体）、special ニーズサポート（発達障害などを持つ子どもがいる家庭のサポート）が開催されています。

まちなか広場 Perch を始めたわけ

スクールソーシャルワーカーとして活動している岡部さん。その活動から、制度の狭間で支援が届かない家庭や、支援の限界、つながり続ける必要性があることに気づきました。

そこで、大人・子どもにかかわらず孤立している人々や、社会からの排除を受けやすい人々の居場所を作ろうと始めたのがまちなか広場 Perch でした。

「子ども食堂」を標榜していないわけ

子ども食堂は貧困・孤食などの問題との紐づけがあり、対象となる人が特定される危険性があります。

また、子どもの貧困対策や多世代交流などの多様な課題に応えられる場所（＝「居場所」）としています。支援者と被支援者を作らないことも理由の一つです。

まちなか広場 Perch の SNS について

Facebook や Twitter、Instagram でも情報を発信しています。

Instagram は本校生徒が記事をアップしていますので、ぜひご覧ください。